

あの手この手で考えて、あの手この手で問題解決!



8月号  
2018



ホテルギウス玄関の7/24の生け花

あの手この手のマークの間のSは solution(解決)のSです。

第133号 2018年8月10日 大和市民活動センター[拠点やまと] 発行



<やまと国際アートフェスタ>作品シリーズその5

世界中の人たちとの出会いの中で、仲良く助け合いながら、楽しい時間をみんなとたくさん作っていきたいです。

Kickoff Company 賞

「世界中のみんなは友だち」

西鶴間小学校の3年生(現在は4年生)  
真田一樹さん

### 第15回かながわイーパーツ リユースPC寄贈プログラム 寄贈団体決定

今年も大和市民活動センター登録団体から積極的な応募がありました。審査の結果、見事「大和アマチュア無線クラブ」「がくいきの会」「日本ペルー共生協会」「やまと国際オペラ協会」が審査を通過しパソコンや液晶モニターを寄贈される予定です。日時：8月25日(日) 会場：相模原市けやき会館  
大和市民活動センターは第8回からの仲間入りです。プログラムを推進している「認定NPO法人イーパーツ」の活動に参加しながら多くの事を学んでいます。この「寄贈プログラムの輪」⇒支援企業からパソコンや周辺機器の寄贈を受け⇒障がい者施設にてPC内クリーニングやソフト導入⇒

公募された市民活動団体にパソコン等寄贈します⇒活動している報告や写真が支援企業にフィードバックされて、はじめて善意の輪が繋がることになります。是非イーパーツHPなどを通して、多くのプログラムや支援企業との素晴らしい活動内容を知って欲しいと思います。「情報化支援」を目標としています。プログラムへの応募自体も勉強です。自分たちの活動をまとめ、他の団体の活動も知る、そしてパソコンを使って更に市民活動が広がって行けばと思います。寄贈を受けたパソコンの有効活用が、今後のステップを構築して行くのだと思います。(望月)





## 7/15(日) ベテルギウスで活動する団体の交流会を開始しました

市民活動センターに登録している団体、部室を利用している団体、起業家支援「Rigel(リゲル)」の30団体、102人の参加で、これからの活動の広がり期待がもてました。

オープニング挨拶の後は「邦楽倶楽部」の三味線の演奏、ラッキーさんの大道芸、「ミュルミュール」のオカリナ演奏と続きました。拠点やまと会長の望月が、炎天下、自転車を走らせ、自宅へマンドラ(マンドリンより1オクターブ低い楽器)を取りに帰り、汗びっしょりになって戻ってきて、最後の曲「エーデルワイス」をサプライズ共演。市民活動センターと登録団体のコラボレーションが実現した瞬間でした。



飛び入り演奏する望月会長(左)と「ミュルミュール」のみなさん

自己紹介はカードに書いた『団体名、参加者の名前、活動内容、自分を動物に例えたら何ですか？その理由は？』を読み上げる方法。進行係の関根から始めて、参加者が例えた動物は、蛇、馬、牛、羊、小鹿、猿、亀、猫、マグロ、カツオ、マンタ、鳥、キツツキ、ナマケモノ、パンダ、こまねズミなどなど。読み上げるたびに、「へ〜」「えっ?」「なるほど」と、そのつど反応が違い、印象に残る自己紹介となりました。

各団体の活動ブースの準備の前に、「ハウスメンテ大和」の地震対策の話に続き、リゲルの「姿勢改善スタジオ」の千葉先生より、椅子に座っているときの正しい姿勢についての講義を受け、背筋を伸ばしました。

淹れたてのコーヒーを飲みながら歓談する人、「映像サロン」のベートーヴェン第9交響曲の演奏会の映像を観る人、活動について質問したり、作品の説明を聞いたりと交流が生まれていました。

展示した「カトリア会」の粘土の花時計がセンターに寄贈され、多目的ルームに掛けました。

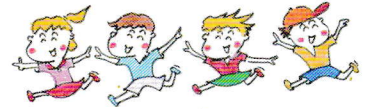
◆参加した人から感想を聞きました。

- \* 部室のお隣同士で知り合えてよかった。
- \* カッコフェスタが楽しみになりました。
- \* 交流会の時間が少なくて、多くの人と交流できなかったのが残念。
- \* 交流会は参加者を強制的に移動させて、もっと交流する機会を作ったらよかった。
- \* 部室の利用団体の部屋番号が分かるようにしてほしい。
- \* 「神奈川探龍倶楽部」に「Atelier Pianoforte」より御朱印帳作りの講義依頼があったと、うれしい報告。



## 『たまめし食堂』は月1回のパーティー

大和市内で初めての子ども食堂「たまめし食堂」が活動を始めて2年が経ち、7月14日(土)16:00~大和保健福祉センターにて活動報告会がありました。



子どもたちの『孤食』が増え続け、加えて貧困の問題も加速している今、「質素であっても心を込めて作った食事の提供を通して、お腹も心も温まる、心地よい居場所をつくりたい」という思いが集まって、毎月1回『たまめし食堂』を開設。

「たまには、みんなでいっしょにめしを食べよう」の思いがこもった『たまめし食堂』。この食堂に通っている子のおかあさんが「うちの子は月1回のパーティーに行くのを楽しみにしているんです」と、スタッフに言った言葉が報告会の中で披露された。そう、ホームパーティーなんですね。

「子ども食堂=貧困家庭」というイメージを払拭し、『たまめし食堂のパーティー』と呼ぶことにしましょう。

報告会には、運営スタッフ、ボランティア、寄付者など、本当に温かい心の人たちが集まりました。

活動報告は内容が詳しく分かるもので、たくさんの善意で運営されている実態が伝わってきました。

ご主人が作った野菜を提供している方は「私は野菜が好きではないので、主人がどこで野菜を作っているか知らないんです。息子に話をしたら、「月1回じゃだめじゃ〜ん」って言うてるんです。開催回数が増えていくといいなと思っています。子どもだけでなくお年寄りも来て、憩いの場になったらいいなというのが希望です」と発言されました。

『はり・きゅう庵』さんは、ひきこもりだった子の作品を仕事場で販売し、自立の支援をしているとのこと。販売の条件が、売り上げの一部を『たまめし食堂』に寄付すること。

売れると作り手はうれしいし、みんなにとってもいいこと。手作りの募金箱に患者さんが小銭を入れて来てくれます。押しつけにならないように配慮しているとも。

1日に3人の人に親切をする。その人がまた3人の人に親切をするという「スリーカインズ」という考え方を実践しているそうです。患者さんにお菓子の会社に努めている人がいたので声をかけたら、喜んで賛同してくれたとのこと。その賛同者が報告会で、賞味期限が迫っているお菓子の段ボールが家に届けられ、家の中が段ボール置き場になっていると、嬉しそうに話してくれました。本当に大勢の人の善意が『たまめし食堂』を支えていると、実感できた報告会でした。

4つのテーブルを囲んでのフリートークの後、それぞれの意見が発表され、継続することの大切さを実感しました。

\*FMやまとの「やまとっ☆みつけた」に出演した時の様子をセンターのHPに記載した内容が、そのまま紹介され、出演していただいてよかったと思いました。

「センター」のある日ある時

7月21日(土) 晴れ 猛暑

2階の部室「土曜アートスクール」に通うお姉ちゃんを待っている弟くん二人。毎回、疲れを知らない様子で、交流スペースを走り回っている。同じくらいの背丈なので、双子かな?と聞いていたら、年子とのこと。それにしても、この暑いのに、エネルギーに動き回る。なんとも子どもらしい姿に、スタッフはつい声をかけたくなる。ママたちは楽しくおしゃべりタイム。スクールが終わる頃には、バケツの水を捨てるお手伝いをしている姿が愛らしい。きっと、帰ってご飯をたべたら、バタン、キューなのでしょうね。





中高生の夏休みボランティア体験  
「このゆびとまれっ!」の  
オリエンテーションを7月23日(月)  
に開催しました

猛暑の中、受け入れ団体の方々がそれぞれに各団体の理念・活動内容・ボランティア活動の必要性、内容、注意など丁寧な説明がありました。

12名の中高生が熱心に耳を傾け、メモを取っていました。その後、受け入れ団体が各ブースに分かれて、中高生の希望になるべく添える様、じっくり日程調整をしました。

部活や合宿などの都合でオリエンテーションに参加できなかった29名の中高生は、センターのスタッフから別途説明を受け、活動に参加します。

大和市芸術文化振興会では…

中高生に本物の絵画や生の音楽に触れて、プロの音楽家と交流してほしいと、好意的にボランティアを受け入れてくれています。

「ウィーン アートフェスタ 2018」に、高校生3名が参加。コンサート準備や受付、会場案内などのボランティア活動を行いました。その時の様子を柏木学園高校・短歌書道部2年生の阿部由香里さんが下記の短歌を詠み、「ナイル（現代短歌 NILE）2018・8」に掲載されました。

〈ウィーンホールにて〉

- ・観客の笑顔たくさん満ち溢れホールに響く喜びの声
- ・ホールでは移動の手伝い椅子出しとひとり何役おおいそがした



市民劇団 演劇やまと塾 第26回公演  
「オズの魔法使い」

日時：8月19日(日) 昼 12:30 開演 夕 14:30 開演  
開場は開演 30 分前 全席自由  
会場：大和市保健福祉センター ホール  
入場料：大人前売り 1,000 円 当日 1,200 円  
小・中・高校生以下 前売り、当日共に 500 円  
保護者同伴の場合は大人 1 名につき小学生 2 名まで  
無料券を発行  
主催：市民劇団 演劇やまと塾  
後援：大和市/大和市教育委員会  
公益財団 大和市スポーツ・よか・みどり財団  
問い合わせ：演劇やまと塾事務所  
Tel：080-6771-4455  
E-mail：[engekiyamato@mail.ne.jp](mailto:engekiyamato@mail.ne.jp)  
公式ブログ：<https://blog.goo.ne.jp/engekiyamato>

やまと学芸（まなびのわ）トロッコ事業  
楽器講座 & チャレンジ! & ミニコンサート

- ♪ 声楽&ピアノ 日時：9月17日(月・祝)  
会場：渋谷学習センター
- ♪ サクソフォン 日時：10月7日(日)  
会場：つきみ野学習センター
- ♪ マリンバ&シロフォン  
日時：11月11日(日)  
会場：桜ヶ丘学習センター
- ♪ ヴァイオリン 日時：12月2日(日)  
会場：中央林間学習センター
- ♪ 箏 日時：2月3日(日)  
会場：シリウス マルチスペース

開場：13:30 開演：14:00 (終演 15:45)  
料金：各 500 円

対象：子どもから大人まで  
主催：大和市芸術文化振興会  
協賛：ウィーンホール  
後援：大和市民活動センター  
日本サクソフォン協会  
日本木琴協会

申し込み：

FAX：050-1387-8974  
E-mail：[yamatorokko@yahoo.co.jp](mailto:yamatotorokko@yahoo.co.jp)  
郵送：〒242-0017

大和市大和東 1-12-4 ウィーンホール内  
大和市芸術文化振興会

締め切り日：各講座の7日前

(希望多数の場合、期日前でも締め切らせていただきますので、ご了承ください)

\* 申込書は大和市民活動センターに置いています。



おやかで♪ゆるりんコンサート  
～歌とサクソとピアノの1時間のコンサート～

- \* 0歳から入れるよ♪
- \* 泣いても大丈夫!
- \* 授乳室&おむつ交換台あります♪
- \* ゆるりんカフェもあるよ

日時：8月25日(土) 開場 9:45 開演 10:00  
会場：大和ウィーンホール  
入場料：高校生以上 1,000 円 中学生以下無料  
主催：大和市芸術文化振興会  
後援：大和市民活動センター  
問い合わせ・申し込み：大和ウィーンホール  
TEL：090-3340-3864  
FAX：050-1387-8974  
E-mail：[susu-watari@mucic.so-net.jp](mailto:susu-watari@mucic.so-net.jp)





----- <出演しました> 録音 CD が大和市民活動センターにあります。 -----

第 323 回 7/3 市民活動センターの運営を担う「市民活動課&拠点やまと」  
「市民に寄り添う活動を目指している拠点やまとのスキルに対して、行政はバックアップするという役割分担がなされている」と語ったのは市民活動課の松原さん。「ベテルギウスへの引越しの様子から行政と協働団体の区別なくお互いに協力し合っていることが伺えました」とジョニーさん。「場所があるということは人が集まる機会があるということ。いつ誰が来てもみんなで「あの手この手」で知恵を出し合う。共に育つ「共育」を骨子に活動が続いている」と語った拠点やまと会長の望月さん。「団体交流会」、「このゆびとまれっ!」、7/24 (火) 25 (水) にイオン大和店で開設される「出張ボランティア総合案内所」についての説明もありました。「ベテルギウスに移転して3ヶ月、いよいよ市民活動センターの持ち味である『人と人を繋ぐ市民活動の拠点』が事業として展開していくことを期待しています」と松原さん。

第 324 回 7/17 「みんなのお箸プロジェクト大和」  
現在 8 割の小学生、その親たちの 7 割近くがお箸を使えないという調査結果を知り、なにか出来ないかと考え、2018 年 1 月に「お箸プロジェクト」を結成し、2 月には、かながわシニアビジネスグランプリで「ベストプラン賞」を受賞。大和でも活動を広めるために「みんなのお箸プロジェクト大和」を結成。4 年前に市民活動センターで第一回目の箸作りの講習会を開催。活動内容は「正しい箸の使い方」の啓蒙活動ですが、箸を上手に使うには自分の手のサイズに合うサイズの箸を使うことが大事です。体内に有害物質を取り込まない天然素材を使用する箸作りのワークショップを開催する等、活動に広がりを持たせています。8/4(土)には「84 (はし) の日」にちなんでシリウスで「はしの日ワークショップ」が、9/17 (月・祝) は敬老の日ということで「箸と和食で健康長寿」のイベントが予定されています。

第 325 回 7/31 「引地川水とみどりの会&こどもエコクラブ」  
「引地川水とみどりの会」が清掃を始め、それを母体に 2008 年に設立されたのが「こどもエコクラブ」。青塚さんは小学生の頃に友達から誘われたのがきっかけで、引地川の清掃活動に参加。長い活動期間のうちには気が進まない…と思う時もあったそうですが、自分達で清掃した川で遊ぶ家族連れを見かけた時に人の役に立ち、やりがいのあるボランティアであると感じ、友達と一緒に活動できる喜びもあって続けてこられたと、話されました。川に入りゴミを拾い上げて分別していると、通りがかった地域の方々から「いつもありがとう」と声をかけられるそうです。自然とふれあう機会が少なくなっている今、子どもはもとより親自身もその機会を持たずに成人していることが多いので、引地川の清掃にぜひ親子で参加してほしいと呼びかける五味さんでした。

<8月の出演団体> 77.7MHz 9:00 お忘れなく! (再放送は当日の 15:00 と 21:00 です)

8/7 (火) 「食のアトリエ」

地産地消を提唱し、大和市の農産物を広めるため料理会など多様な活動をしています。

8/21 (火) 「高校生ボランティア」

夏休みボランティア体験「このゆびとまれっ!」に参加した高校生に話を聞きます。

★やまとっこ☆みつけた ★やまとっこ☆みつけた ★やまとっこ☆みつけた ★やまとっこ☆みつけた ★やまとっこ☆みつけた ★やまとっこ☆みつけた ★

スタッフの  
つぶやき



交流会の次は  
カッコフェスタだね



拠点やまと会長  
望月 則男

「ベテルギウス団体交流会」の夜は FIFA ワールドカップの決勝戦! 優勝のフランス監督が「胴上げされるのを見て「あれ! 最近 世界中で胴上げ」をする様に?」昔から日本各地「神事」「お祝い事」として行われていますが...



市民活動相談担当  
関根 孝子

inondation 洪水  
glissement de terrain 地滑り  
canicule 酷暑  
climatisation エアコン  
coup de chaleur 熱中症  
毎日流れるニュースで覚えたフランス語。繰返し学習! いやだね~



ボランティア担当  
櫻井 貞代

中高生ボランティア体験 「このゆびとまれっ!」が始まりました。輝く眼でボランティア紹介のチラシを見つめ、一つでも多く体験しようと、受け入れ団体と調整している。この瞳の輝きがいつまでも...



ニュースレター担当  
櫻井 美紀子

学生時代の友人から、「母のお箸を使ってもらえないか」と絡あり。高校で箏曲部の指導をしている知人が欲しいとのことなので貰い受ける。その箸は古いが上物で、琴柱は今ときには手に入りにくい象牙のよう。繋げられてよかった。



FM やまと担当  
辺見 弥生

夏休み中高生ボランティア「このゆびとまれっ!」が始まり、早速「学べる」に参加。オリエンテーションでは緊張していた学生達が、生き生きした表情で活動している姿に胸が熱くなりました。これから続く活動に立ち会えることが今年の夏一番の楽しみ。



HP 担当  
吉浜 学

先月の事とは別の問題が発覚、屋根裏に上がり作業をしていた時に、小さな水たまりを発見。業者に頼んで屋根を調べたら屋根の外側部分が浮き、その部分から水が浸入したとの事。運が悪いのか運がいいのか、考えてしまいます。



「あの手この手」担当  
石川 美恵子

エアコンが故障。猛暑になる前に設置してもらい、ラッキー! 姉の家では、電気屋さんに電話したら、依頼が殺到しているので、すぐには対応できない。室外機に水をかけてみてくださいと言われ、実行したら動いたとのこと。嘘!

大和市民活動センターは「大和市新しい公共を創造する市民活動推進条例」に基づいて設置されています。

「あの手 この手」 第 133 号 発行日: 2018 年 8 月 10 日

発行: 大和市民活動センター 拠点やまと

大和市民活動センター <開館日 月~土 9:00~18:00>

TEL: 046-260-2586 FAX: 046-205-5788

<休館日 12月29日~1月3日・毎月第3月曜日>

e-mail: yamato@ar.wakwak.com

〒242-0018 大和市深見西 1-2-17

http://www.kyodunokyoten.com/